

## 笠岡市立カブトガニ博物館

特別展示 干潟のいきもの展～カブトガニのゆりかご～

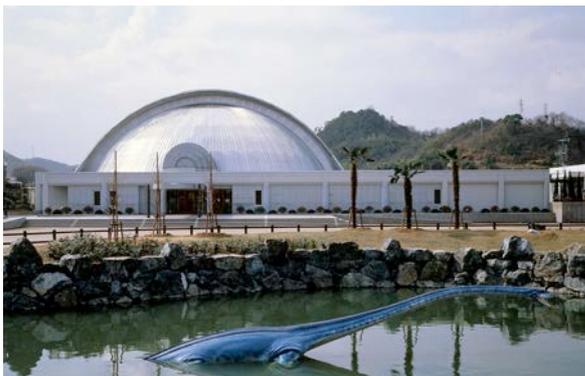
開催期間：平成27年7月18日（土）～9月30日（水）



### 【企画展の目標】

- 笠岡市内に広く見られる「干潟」にスポットを当て、そこに暮らす様々な生き物についてや、干潟そのものが「海の浄化」や「生物多様性の維持」といった役割を担っていることを紹介し、身近な海の特徴や役割を伝えていく機会とします。
- 笠岡市の干潟がカブトガニの繁殖地として保護されていることから、カブトガニの幼生放流や生き物観察会、ビーチクリーン等の様々な関連事業を通じて、地元の海の豊かさや、自分たちで守っていく意識を体験的に学べる機会とします。

### 展示会場の様子



カブトガニ博物館 外観



企画展会場 入口



干潟には「海の水をきれいにする効果」などの重要な役割があることを紹介するとともに、地元の干潟の分布や、昔と現在でどのくらい狭くなったのかを紹介しています。また、干潟の「におい」も紹介し、五感で学べるよう工夫しています。



干潟の役割である「生物多様性の維持」について、アマモの藻場とそこに暮らす生き物を紹介するとともに、それをエサとして集まる鳥などを紹介し、干潟を中心として生物の多様性が保たれていることを、実物展示により紹介しています。



干潟の減少と共に、そこに暮らす生き物も減ってきていることについて、地元ならではのカブトガニを始めとした生き物を展示し、干潟を守ることが豊かな生物多様性や海の環境を守る事につながることを紹介しています。

## 関連事業の様子

### ■ 自然体験学習「海辺の学校」

【開催日時】平成27年7月29日（水） 13:00～16:00

【開催場所】笠岡市立カブトガニ博物館ログハウス、大殿洲海岸

【参加者数】15家族43名（子供28名、大人15名）

【目標・内容】

- 身近な干潟に実際に訪れ、そこに棲む様々な生き物の観察を行い、地元の海の豊かさや守る事の大切さを体験的に学ぶ機会となる事を目指しています。
- 干潟が海水を浄化する役割の学習や、カブトガニの幼生放流によって、干潟が海の環境や生物多様性の維持に重要な役割を持っていることや、地域ならではのカブトガニを通じて、絶滅の危機にある生き物がいる事、自分たちが海の生態系や環境を守っていくという意識をもつ機会とします。



事前学習の後、実際に干潟に行って、そこに棲む色々な生き物を見つけます。見つけた後は学芸員の説明による観察会を行い、名前や特徴などを記録したり絵に描いたりし、最後に生き物を海に返し、生き物や環境保護について体験的に学ぶ機会となりました。



アサリの海水浄化実験を通じた干潟の役割の学習や、カブトガニの幼生放流により、干潟の大切さや絶滅の危機にある生き物がいる事、自分たちが地域の海の生き物や環境を守っていくという意識を体験的に学ぶ機会となりました。